

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスクローバー		
○保護者評価実施期間	2026年 1月7日		～ 2026年 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・サッカーを中心とした運動活動を楽しむことができる。	・サッカーやボール遊び等の運動活動中心のプログラムを行い、楽しみながら体を動かすことができる。また、一人ひとりがやってみたい・出来るようになりたいと挑戦し、成功体験や失敗体験などの経験を積み重ねることができている。 ・低学年の子どもさんや体を動かすことに対し自信が持てない子どもさんに対しても、簡単な体を動かす遊びを取り入れたり、少人数での活動を取り入れたりして、体を動かすことを楽しむことのできるプログラムも取り入れている。	・運動活動の内容の幅を広げたり、土曜日や祝日に行う活動内容の充実を図ったりして、子ども達が楽しみながら必要な力を身に付けることを考えながら、職員間で意見を出し合っ て活動を設定していきたい。
2	・地域の子供達や地域の方々と関わりを持つことができる。	・月に一回、子ども食堂を開催したり、土曜日や祝日に保護者の方や曾於市の他の事業所さんと一緒に運動会や親子サッカー大会等のイベントを開催したりして、地域の子供達との関わりを持つことができている。 ・子ども達が主体となって開催する子どもレストランやカフェを開いて保護者の方を始めとして学校の先生や地域の方々を招き、交流する場を設けることができている。	・地域の方々との交流の場で、保護者や地域の方々同士が直接関わるることのできる場面も作ってきたい。 ・子ども達のことを地域の方々が知っていてくれて、困った時にも地域で助け合える仕組みを作ってきたい。
3	・計画に沿った支援を行うことができ、活動内容を工夫している。	・個別支援計画の内容を支援員同士で共有し、支援内容を踏まえながら活動内容を考えることを意識している。 ・定期的に支援員同士でミーティングを行い、活動の際に気になることや困ったこと、活動内容について意見を出し合い、改善や工夫を行っている。 ・関係機関と連携し、支援の方向性を確認しながら活動を進めている。	・引き続き、計画について支援者間で情報を共有し、支援者全員で共通した支援ができるようにする。 ・日ごろの活動やイベント事などの際に、支援員それぞれの役割を決め、予測されることを支援者同士で話し合い、臨機応変に対応できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方々へ事業所のマニュアルや非常時の対応について周知不足である。	・マニュアルについて、入所時に説明をしているが、定期的には行っていない為、周知されていない事が考えられる。 ・訓練を行ったことについて、公表できていなかったり、保護者に説明不足であったことが考えられる。	・保護者の方と個別支援計画の見直しの際に、ホームページにて公表しているマニュアルや非常災害時の対応について説明を行う。 ・訓練等行った際に、ホームページで公表し、そのことについても保護者にお伝えする。 ・入所時の説明の際、分かりやすく伝える。
2	・施設的环境・設備体制が見えにくい部分がある。	・活動内容を写真やSNS等で公表したり、面談の際に施設内を見ていただいているが、説明が不足していたことが考えられる。	・体験や入所時に、実際に活動の環境を見てもらい、十分な広さと適切な人員配置であることの説明を行う。 ・施設の設備体制についての説明を行ったり、行事ごとの際に、活動の様子を写真も交えながらわかりやすく伝えることができるようにしていきたい。
3	・地域との交流や保護者との交流の場を目的としたイベントとして伝わりづらい面がある。	・定期的に子ども食堂や運動会などを開催し、保護者の方や地域との交流の場を設けているが、保護者同士が直接関わっている場面は少ないため、交流の場を作ることも目的の1つであることが伝わっていない可能性がある。	・地域との交流や保護者との交流の場を目的としたイベントとして分かりやすいお知らせの仕方を心がけていく。 ・保護者同士が気軽に話をして交流しやすいイベントの雰囲気を作っていく。